

主な実施事業

- (1) トップチーム連携事業
(サッカー教室／ラグビー体験／体操教室／試合観戦企画 など)
- (2) 軽スポーツ大会
- (3) 障害者向けプール開放
- (4) 障スポCONNECT等を通じた関係機関との連携・情報共有

今年度の実績・良かった点

- (1) 市内トップチームとの連携により、スポーツへの関心喚起につながった。
体操教室は継続参加が多く、参加者から好評を得ている。
- (2) 軽スポーツ大会は例年同様、安定した参加があった。当事者や関係団体等との交流が生まれている。
- (3) プール開放は安心できる環境や機会の提供に繋がっている。
- (4) 地域の関係者同士が顔の見える関係性を築ける場となっている。

見えてきた課題

- (1) 単発参加にとどまらず、継続的な運動習慣へつなげる仕組みづくり
子ども世代、特に中高生の新規参加者の確保
競技イメージによる心理的ハードル(ラグビー等)
- (2) 事前準備や当日の効果的な運営
- (3) 屋外実施と熱中症対策

来年度につながる視点

「体験」だけでなく、「継続参加」につながる導線づくりが必要
トップチーム連携を活かし、「する・見る・応援する」機会の充実を図る
地域資源のさらなる活用(スポーツ推進委員やボランティア 等)